

わ

く

わ

く

2月号



本だな

1

2

3

年



E 『 氷上カーニバル 』

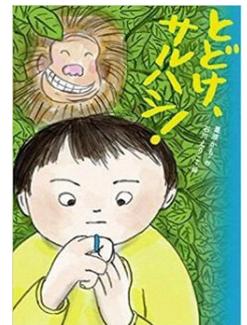
あべ弘士／作 のら書店
わたしのまちでは、冬のおわりに、氷上カーニバルというおまつりがひらかれるの。冬になると、公園の池がこおって、大きなスケートリンクになるの。夜、大人も子どもも、きらきらしたすてきな服で、氷の上をおどりながらすべるのよ。

えほん

K913 『 とどけ、サルハシ！ 』

葦原かも／作 石川えりこ／絵 小峰書店
図工の時間にテナガザルの絵をかいていたりよう。うっかり友だちの絵をよごしてしまいますが、うまくあやまることができません。こうていにとび出したりようの前に、とつぜんテナガザルがあらわれて、話しかけてきました。

ものがたり



K913 『 チョコルとチョコレートの魔女 cafeエルドラド 』

まじよ カフェ
こばやしゆかこ／著 岩崎書店
おかしがじまんの、カフェ・エルドラド。ある日、魔女の形のチョコレートが手に入ったので、大なべでとかして、ケーキを作ることにしました。ところが、にえたつなべからチョコレートがたちあがり、なんと魔女にへんしんしたのです。

ものがたり

E 『 このかみなあに？ トイレットペーパーのはなし 』

谷内つねお／さく 福音館書店
まいにちつか
毎日使うトイレットペーパー。みぢかな紙なのに、知らないことがいっぱいです。小学校のろうかて転がしたり、何回も重ねて上からたまごを落としたり、ペットボトルの水をすわせたりしたら、どうなるのでしょうか？

ちしきのほん



としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200

わ

く

わ

く

2月号

本

だ

な

4

5

6

年



K913 『ごいっしょさん』

松本聡美／作 佐藤真紀子／絵 国土社

「ようかい〈ごいっしょさん〉。かみの毛がつんつんして
いて、目がくりくりした男の子。勇気が出ないときに、いっ
しょにいて、パワーをくれる。」これは、ようかい博士の洋太
が、友だちをはげますために作ったものです。

それなのに、クラスみんなが〈ごいっしょさん〉を見た
といただきました。

物語

K913 『ジャンプして、雪をつかめ！』

おおぎやなぎちか／作 くまおり純／絵 新日本出版社

5年生の3学期、唯志は、両親がりこんして、母の故郷の
青森へ引っ越しをすることになります。引っ越し先の古い
家は、トイレがくみ取り式で、昭和にタイムスリップした
よう。おまけに、雪はようしゃなく降り続きます。

そんなある日、母の同級生とクラスメイトが、屋根の雪
下ろしをするために唯志の家にやって来ました。

物語



ちしきの本



E 『アンデルセンの夢の旅』

ハインツ・ヤーニッシュ／文 マーヤ・カステリック／絵
天沼春樹／訳 西村書店

「雪の女王」「親指姫」「はだかの王さま」の作者、アンデ
ルセン。小さなころから、父親が読んでくれるおとぎ話が
大スキでした。14歳になって、はじめておしばいを見た
とき、自分も出たいと思います。故郷の島をはなれ、歌手をめ
ざしますが、声変わりで夢をあきらめることに。そのかわ
りに、詩や物語、おしばいをかくことに熱中します。

図書館のまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200